

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 106番
- \*交読文 …………… 55番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 107番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 104番
- メッセージ …………… ヘロデ大王 - 希望の星が輝き登る前の大きな闇(イザヤ 9:1-7)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 105番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 …………… 本日よりクリスマスアドベント(降誕節)に入ります。
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

主よ、あなたがさばきをなさる道で、      はあなたを待ち望む。      の魂の慕うものは、あなたの記念の名である。      は夜あなたを慕い、わがうちなる霊は、せつにあなたを求める。あなたのさばきが地に行われるとき、世に住む者は正義を学ぶからである。悪しき者は恵まれても、なお正義を学ばず、正しい地にあつても不義を行い、主の威光を仰ぐことをしない。主よ、あなたのみ手が高くあがるけれども、彼らはそれを顧みない。

どうか、あなたの、おのが民を救われる熱心を彼らに見させて、大いに恥じさせ、火をもってあなたの敵を焼き滅ぼしてください。主よ、あなたは      のために平和を設けられる。あなたは      のために      のすべてのわざをなし遂げられた。      の神、主よ、あなた以外のもろもろの主が      を治めた。しかし、      はただ、あなたの名のみをあがめる。(イザヤ 26:8-13)

本日より待降節が始まる。この時期、主イエスのご降誕にまつわる人物達を見て行きたい。主のご降誕のしるしが現れたのは、ヘロデ大王が支配している時代だった。その時代のイスラエルは縄目に縛られたような暗い時代であった。今回は、このヘロデ大王に至るまでの時代背景を学びたい。

旧約聖書の最後が記されてから主イエス様がお生まれになるまでを「中間時代」と呼び、その間、主からの預言が一切無かったため、「空白の四百年」とも呼ばれている。バビロン捕囚後のイスラエルは主の憐れみを受け、ペルシヤ王クロスの勅令の元、イスラエル人はエルサレムに帰還し、神殿を建て、礼拝する事が許され、霊が奮い立たされた人達によって、礼拝が回復した。(エズラ1章)

ペルシヤ支配下の200年程の時期は、比較的平和な時代であったが、アレクサンドロス大王がペルシヤ帝国を打ち破り(BC334)、ユダヤはその属州とされ、ギリシヤ文化(ヘレニズム文化)を普及させられた。しかし彼は32歳余の若さで病没し、その後4人の王が台頭した。これらの出来事は、実はダニエルがBC550頃に預言している。(ダニエル 8:8-12) この4人の王は4本の角として示され、その内の一本は麗しの国(イスラエル)に向かって高ぶり、常供のささげ物は取り上げ、礼拝が汚される事も預言されている。その礼拝を汚す「一本の角」はシリアの王安ティオコス・エピファネス(BC175-164年)と思われる。彼はエルサレムを占領すると、ユダヤを強制的にギリシヤ化しようとし、律法を焼き捨て、神殿はゼウス神を祭る所とし、豚や不浄な動物が捧げられ、娼婦が戯れる場とされた。彼の命令に背いた者は死刑に処せられ、多くの祭司やイスラエル人は、御言葉に背くよりは死を選んだ。(外典 1マカベヤ書 1-6章) そこで人々は祭司マッタティヤを指導者としてマカベアの反乱を起こした。エピファネスは彼らの反乱を抑える事が出来ず、ついにBC165年、エルサレムを取り戻し、3年中断されていた礼拝が再開できた。これを記念する「宮さよめの祭(ハスカーの祭)」(ヨハネ 10:22)は、今日まで続いている。

この時代、マッタティアの息子たちが次々と指導者となり、ユダヤは独立国となって「ハスモン王朝」(BC142-63)が成立したが、その子孫達は兄弟同士の骨肉の争いをするようになり、漁夫の利を得たローマ帝国によって占領され(BC63年)、約80年間の短いユダヤ独立の時代は終わった。ちなみにその反対勢力として、律法と多くの言い伝えを敬虔に守ろうとする「パリサイ派」が起こったのも、この時期とされている。

こういった混乱の中、ローマの権力を背景にして頭角を表して来たのが、イドマヤ人(エドム人)・ヘロデ大王(BC37-4)だった。彼の政治手腕、特に、保身・立身の感覚は天才的で、ローマやユダヤの権力抗争で様々な危機はあったものの、いつも的確に身をこなし、有利な地位を得て行った。権力を得た彼は、特に建設事業に力を入れ、ユダヤ人の機嫌を取るために建造したエルサレム神殿は壮大で美麗を極めた。パリサイ人はヘロデに反発したが、神殿建設は評価し、彼らが記したユダヤ人の伝承・タルムードには「ヘロデの神殿を見るまでは美しいものを見たと言うなかれ」と記されている程である。しかし彼は猜疑心が深く、自分の権力を脅かす者は愛妻であろうと息子であろうと殺害するような者である。

主の預言が途絶えて久しく、その間受けてきた他国からの虐げと、自国内部から沸き起こる罪の故に、イスラエルは疲弊し、こうして人々の心にダビデの末裔として来られるメシヤを待望する心が深まって行った。次の賛美は、実にその心境を表しているだろう。「久しく待ちにし主よ、とく来たりて、み民のなわめを解き放ちたまえ。あしたの星なる主よ、とく来たりて、お暗きこの世にみ光をたまえ。ダビデの裔なる主よ、とく来たりて、平和の花咲く国をたてたまえ。主よ、主よ、み民を救わせたまえや。」

東方の博士達が、ユダヤ人の王としてお生まれになった方の星を見た時、どれ程、心踊ったであろうか。だから彼らは、遠い旅を厭わず、宝物を携え、礼拝に行くのだ。彼らはエルサレムのヘロデ大王の所に行った時、悪に染まった彼とその取り巻きしか見いだせず、メシヤは見つけられなかったが、神は主を慕う礼拝者のために、星を動かしてでも便宜を図り、そしてヘロデのような邪悪な者から回避させ守って下さる。ダニエルに預言された暗き時代の後に、希望の星が現れたように、現代のこの暗き時代の後に、キリストは必ず再び来られる。待降節のこの時、主の現れを心して待ち望みたい。

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報

### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

#### 日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈祷会	5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会	13:00～
火～木 夜の祈祷会	19:30～

#### 水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

### アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト